

もらいたい。3年生は得意教科をとことん鍛え上げ、自信が持てる科目があれば、それが支えになり受験を乗り切れる。後輩たちにその戦いぶりをみてもらい、後輩たちが勇気を持って後に続いていくことができるよう、道を切り拓いてもらいたい。」との激励があり、8月23日までの約1カ月間、北高生の熱い

職員室、進路室前で自習する3年生が増える。



名取北高生の熱い夏！

7月22日、夏季休業前の閉講式が行われ、校長より「欲張らずに実施可能な計画をコツコツやり、これはやり切ったという満足感を



体育館で打込練習を行うバドミントン部

夏休みが始まりました。

運動部は各種大会、強化試合、合宿等、文化部は文化祭への準備等、各部とも暑い中、熱い活動を展開しました。また、夏期講習（3年：7月25日～8月5日+8月17～22日、1・2年7月25日～8月1日）を行い、3年は学習合宿（7月16～18日・於：富谷町・42名参加）も開催。発展段階の内容を中心に学習しました。3年生は進学のアオ入試、就職等に向け、本格的な準備を開始しています。

「道で咲かせよう東北の花」

東京都庁舎前花壇育成プロジェクト

このプロジェクトは東京都道路整備保全公社が企画する被災地と東京都の地域交流事業で、生徒会執行部、奉仕活動部を中心に昨年度から取り組んでいます。今年度は、育てた花を実際に都庁前に植える「定植イベント2016」（7月29日）に招待され、松崎里歩さん（前生徒会長・3年・宮中出身）と大泉花奈さん（新生徒会長・2年・白石南中出身）が本校を代表して参加し、都民の皆様と一緒に定植作業を行いました。



も感動しました。これからは、いままで以上に人とのつながりを大切に、復興イベント等に積極的に参加していきたいと思

小学生と作業をする松崎さん(中央)



私は今回のこの定植イベントに参加したことで、人とのつながりがどれほど素晴らしいものか改めて知ることができました。昨年、名取市閑上地区でひまわりを植えるイベントに参加しました。これらのひまわりを「僕が育てて名取に贈ったんだよ！」と、一緒に定植作業をして、小学生の男の子が話をしており、とても驚きました。このようにして復興を応援してくれている人に出逢えたことと

7月29日に東京都庁前の花壇で行われた「道で咲かせよう東北の花プロジェクト」の定植イベントに参加しました。このプロジェクトは東日本大震災の被災地である宮城、岩手、福島、3県で花苗を育てること、またそれらを提供し都庁前に定植することで花を通じた震災復興を図るものです。生徒会執行部では昨年度からこのプロジェクトに参加しており、私たちが育てた花を職員昇降口や生徒昇降口で目にした人も多いと思います。

花プロがつかないでくれた

松崎里歩

オープンキャンパス開催

7月28日のオープンキャンパス(学校説明会)に、中学3年生を中心として1,004名の参加をいただきました。御礼を申し上げます。生徒会による学校紹介やギター部演奏、写真部による活動報告等、生徒による紹介も多く、本校の魅力や日頃の取組についてお伝えできました。また、全体説明会、質問コーナーでの個別相談、各部活動の見学、食堂の利用等を通し、本校の楽しく充実した生活もご覧いただきました。今後も、中学生が夢と希望を持って志願する学校となるよう、精一杯努力して参ります。

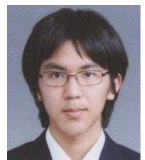


名取市図書館「Let's理科読(りかどく)～水のふしぎ～」

ボランティアに参加して

小畑大夢（1年・袋原中出身）

この企画は7月23日名取市文化会館小ホールで開催され、図書委員6名が参加しました。小学生を対象に、NPO法人ガリレオ工房のスタッフが提供する水にまつわる色々な実験、本の読み聞かせ等を、増田中学校生徒と地域図書館ボランティアの方々と一緒にを行いました。クロマトグラフィーを使ったしおり作りやアメンボの様に表面張力を利用した水面に浮くおもちゃ作り等、水を使った実験や工作に目を輝かせている子ども達を微笑ましく思いました。約300人が訪れ対応はたいへんでしたが、素晴らしい経験をすることができました。



部活動大会の主な結果 【書道部】 毎日書道展県高校生選抜書展 県知事賞 佐々木歩果（3年）、仙台市教育長賞 猪股あずか（3年）、他5名入賞。 【吹奏楽部】 吹奏楽コンクール県大会予選名取仙南地区大会 金賞

学校前にある会社「榊台マエダ」は、本校創立前からこの地にあり、ずっと名取北高校を見守っていたに違いありません。今回、社長の遠藤銀一様から学校へ応援メッセージをいただきました。

名取北高等学校の皆様へ

—夢を追い求めて—

榊台マエダ

代表取締役 遠藤 銀一



連日夏らしく暑い日が続いておりますが、名取北高校の先生や生徒の皆様が、早朝から明るく元気に当社の前を通勤通学される姿に、爽やかな一日の始まりを感じさせられております。

当社は名取北高校の目の前にあり、榊マエダ仙台支店として昭和49年に現在地に発足、昭和53年より現在の「榊台マエダ」として独立し、ステンレス製建具（サッシ）、建築金物等の製作・販売・施工と一貫した物作りを行っている会社です。

今年で創立39年目となりますが、創立当時は学校も市役所もない田園地帯で、仕事の昼休みには田んぼで野球をしたりしておりました。現在では住宅や病院、学校が整備されて様変わりし、住民は増え、名取北高校は生徒が多く集まる地域のシンボルとなっております。

また、生徒の皆様は、朝早くから夕方遅くまで勉強やスポーツに励んでおり、校舎に掲げられる栄光の垂れ幕と活き活きとした姿を拝見しながら、毎日元気を頂いております。

これからも自分の目標に向かってたくさん経験をし、より良い進路選択ができますことを願っております。物作りの好きな方は、是非当社へ！夢を追い求める皆様をいつも応援しています。今後とも末永く、宜しくお願いいたします。

— Support Our Kids (東日本大震災被災児童自立支援プロジェクト・2016海外ホームステイ) 参加報告 —

「復興を担うリーダーづくり」を目的としたこのプロジェクトは、本県では榊ウジェスーパーが支援し、多くの応募の中から佐藤幹尚さん(3年・岩沼西中出身)が選考され、この夏アイルランドに派遣されました。



コミュニケーションの大切さ

佐藤幹尚
今回7月25日から8月7日の約2週間、Support Our Kidsという震災復興のための人材育成機関の支援で、東北の同じ年代の生徒8人と西ヨーロッパのアイルランドにホームステイをして来ました。

現地では世界各国から生徒が集まる語学学校に昼は通い、午後からは外務省へ行き外務大臣にお会いするなどの表敬訪問を行うというスケジュールで日々過ごしていました。今回ホームステイを通して感じた事はコミュニケーションの大切さです。もちろん英語での会話でしたが、英語が苦手でも友達がたくさんできていた人もたくさんいました。それはその人に伝えようとする意志があり、それを受け取った世界各国からの生徒が反応してくれたからだと思われました。この経験からコミュニケーションとは話すことだけではなく、本当に自分のことを相手に伝えるようにすることなのではないのだろうかかと深く考えるきっかけになりました。



これから、この貴重な体験を周囲の人に伝え、今回学んだことを無駄にしないように努めていきたいと思えます。

「北高祭」開催！！

北高祭(文化祭)の一般公開が下記日程で行われます。今年のテーマは「KITAKOUSAI~We are perfect students」です。

地域、中学生の皆様、同窓生、保護者の皆様等、ぜひお誘いあわせのうえ、お出掛けください。

日時 9月3日(土) 9:30~14:30
内容 文化部のステージ発表、展示クラス、有志団体の出店
PTAの餅つき実演・即売等

【宮城県名取北高等学校】

〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田103
TEL 022-382-1261 FAX 022-384-8976
HP <http://natorikita.myswan.ne.jp>
mail chief@natorikita.myswan.ne.jp
(担当) 教頭・町田尚彦
(学校だよりのご感想をお寄せください)

保育所実習に参加して 齋藤理紗(2年・名取一中出身)

7月26日に増田保育所での実習に参加しました。3歳児の担当となり、懐いてくれるか心配でしたが、子どもたちは人見知りもせず話しかけてくれました。それぞれが好きなおもちゃで遊ぶため取合いになっってしまうこともあり、発達段階に応じた指導の難しさを感じました。実習を通し、保育士の方のリアルな声を聞き、大変な中にもやりがいを感じている姿から多くを学びました。とても貴重な体験をさせていただき感謝しています。



仙南ガス主催「料理講習会」に参加して

渋谷ひかる(家庭部・3年・荒浜中出身)

8月10日に家庭部14名で参加しました。昨年度から参加し、今年は鈴木先生と高橋先生にパスタとドレッシングサラダ、そして念願のシュークリームを教えていただきました。シュークリームの生地は風船のように膨らませなくてはならないので卵の量に気をつけて作るという極意を教えていただきました。レベルの高い内容に、参加者一同大変勉強になりました。9月には「敬老の日イベント」にも参加させていただき約束をし、みんな楽しみにしています。これからも地域の皆様との交流を続けながら、家庭部も活動していけば良いと思います。

